

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)9月9日

所属名：甲賀農産普及課

番号：C22018

部門分類：130（工芸・特用作物）

発信者名：竹若、近藤知

茶生産青年の「お茶を鑑る」力を競う！

8月24日、農業技術振興センター茶業指導所において若手茶生産者で組織する滋賀県茶生産青年協議会が、全国茶審査技術競技会（京都大会）（以下「全国大会」という。）への参加選手を選抜するために県予選会を開催しました。当課は若手茶生産者の鑑定審査技術の向上に向け、指導・助言を行いました。

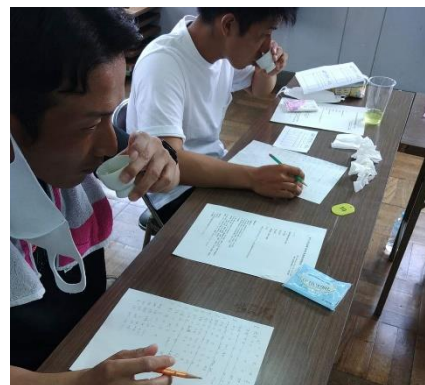
全国大会は、茶生産青年の茶鑑定審査技術の向上を図ることを目的に、全国お茶まつりの関連行事として毎年開催されています。県予選会には10名の生産者が参加し、外観や煎出した茶から生産地や品種を判別するなどの鑑定審査の技術を競い、成績上位5名を県代表に選びました。参加者からは「今年は例年より煎出液の産地間差が少なく、判別に苦労した。」との声が聞かれました。

今年の代表選手はベテランから若手農業者まで幅広い層の選抜となりました。今年の全国大会は、11月18日に京都府で開催される予定です。

茶の鑑定は五感を駆使して良否・特徴を判別するもので、生産者にとっては良質茶生産のために習得すべき重要な技術です。全国大会までに数回練習会を行うこととしており、当課は今後も茶生産青年の審査技術の向上に向け支援します。



外観による産地判別競技の様子



煎出液による品種判別競技の様子